

Alex Nakhimovsky(アレックス・ナキモフスキー) / Piano

■ALEXANDER NAKHIMOVSKY

■ロシア生れ

ロシアで生まれ、6歳で音楽を学び始め最初の楽器はバイオリンでした。
音楽学校で理論とピアノを学びました。

1978年アメリカに移り、1988年にコネチカット州ウエストハートフォードの
卒業し、音楽家として活動。

音楽ディレクターとピアニストとして、6つの大陸ツアーを行い、スタインウェイ
ビルディング・ニューヨーク市タウンホール等でも演奏しました。

コンサートではトランペット奏者ヴァレリー・ポノマレフ(Valery Ponomarev)
ベニー・ゴルソン(Benny Golson)、ドン・ブラーデン(Don Braden)、ボビー・
Watson)、トロンボーン奏者カーティス・フラー(Curtis Fuller)、ドラム奏者ジ
Cobb)、ヴォーカリスト シーラ・ヨルダン(Sheila Jordan)等と共演。

1998年にクレイグ・ハンディカルテット(The Craig Handy Quartet)、200
コストカルテット(The Tim Armacost Quartet)でシベリアノボクズネクツとガ
グでインターナショナルジャズフェスティバルに参加。
両方のパフォーマンスはBoheme Music labelに録音されました。

2002年ロードアイランドの歌手ショーウ・モンテイロ(Shawunn Monteiro)と
いくつかのコンサートを行いました。
また、ジャズバイオリン奏者デイビッド・ゴロシェキン(David Goloshekin)とコ
ボストン等でツアーを行いCDの録音もしました。

2004年に再びデイビッドと歌手のシーラ・ジョーダン(Sheila Jordan)と、ハ
インターナショナルジャズフェスティバル、トリントンジャズフェスティバルに

レコーディング、コンサートツアーの傍らコネチカット州ハートフォードのGre
Academy for the Artsで教鞭をとっています。

理論的で釣合いの取れた、彼自身のスタイルを持つ優秀なピアニストであ

近年、ロシア・シベリア地方の“ジャズ・アット・ザ・オールドフォートレス・イン
ジャズ・フェスティバル”、“バイカル・ウェイブス・インターナショナル・ジャズ
に於いてニューヨーク サイドのプロデューサー及びプレイヤーとして参加

Alex Nakhimovsky


